

会報第36号

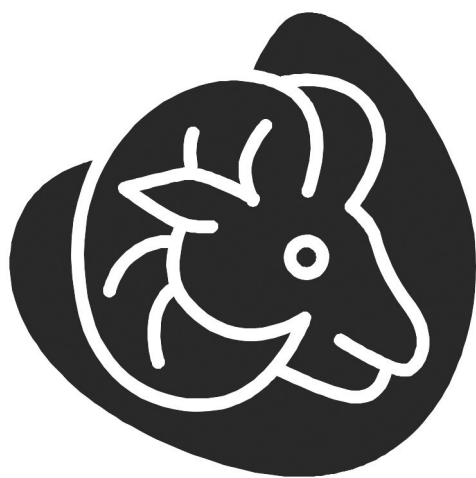


ふれあいネットワーク

八雲町社協だより

ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

迎春



年頭のご挨拶

八雲町社会福祉協議会

会長 松 井 敏 夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から社協に対して、皆様がたのいつに変わらぬ温かいご支援とご協力を賜わりまして、厚くお礼を申し上げます。

ご承知の通り、少子高齢化や核家族化が進むにつれ、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなど、社会構造が急激に変化しており、人間関係の希薄化や相互扶助の弱体化など、懸念されるところであります。

現在社協は、「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を基本理念として新2期地域福祉実践計画の推進に努めておりますが、このような状況をしっかりと把握し、事業展開をするために町をはじめとして、社協を構成する団体や地域福祉を推進していく団体・個人などより一層連携、協働し、信頼され、親しまれる社協として、役職員一丸となって取り組んで参りますので、これまで同様にご支援とご協力をお願い申し上げます。

では、町民皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

第5回八雲町社会福祉大会開催

平成二十六年十一月三十日（日）シルバーラザに於いて、第五回八雲町社会福祉大会が開催され、一六一名の町民、福祉関係者が参加しました。

式典では、社会福祉に功績のあった方々に対し、表彰状が授与されました。

続いてボランティア実践報告として、子育てサポートたっちの吉田副会長から、活動から得た学びや、やりがい、専門的な対応の難しさなどの報告がありました。

また記念講演は、NPO法人シーズネット理事長奥田龍人氏を招き「地域包括ケアと地域の支え合い」と題しお話しいただきました。

健康寿命を伸ばし生き活きと暮らす期間が長く続くように、友人や趣味、役割をつくり社会参加をすること、毎日の生活の中で適度な運動をすること、バランスのとれた食事をするを心掛けましょうと話されました。

他にもシーズネットの活動など、笑いをまじえた楽しい講演となりました。

最後に八雲町町内会等連絡協議会 長江会長より大会宣言が行われ、地域で支えあうことの大切さ、誰もが安心・安全に暮らせる福祉のまちづくりを目指すことを宣言し盛会に終了しました。



【八雲町社会福祉協議会会長表彰】

☆八雲町社会福祉協議会役員として十年以上在任し、その功績顕著なもの

小西 寿美子（東雲町）
岩佐 隆治（熊石豊岩町）

☆福祉団体の役員として永年勤め、その功績顕著なもの

増井 ケイ（本町）
堂七 武之（相生町）
寺谷 修身（熊石西浜町）
佐藤 武夫（熊石関内町）
笹川 則子（熱田）

☆ボランティア団体の役員として永年勤め、その功績顕著なもの

蜂谷 智子（相生町）
田中 美代子（元町）

☆八雲町社会福祉協議会の職員として、二十年以上勤続し、熟誠職務に奉仕したもの

笹原 幹雄（熊石関内町）

【感謝状の贈呈】

☆愛情銀行に多額の金品を寄贈し、本会の福祉事業に寄与したもの

水野 喜和子（宮園町）
日野 せつ（栄町）

【伝達】

☆北海道社会福祉協議会会長表彰

干場 光（落部）
増井 ケイ（本町）
大井 信夫（春日）
益田 直江（熊石泊川町）
笹原 幹雄（熊石関内町）

☆北海道共同募金会会長表彰

増井 ケイ（本町）
八雲町地域子ども会育成連絡協議会

山越小学校児童会
笹原 幹雄（熊石関内町）
柴田 亨（末広町）

【敬称略、順不同】

八雲町社会福祉協議会

八雲町社会福祉協議会

役員先進地視察研修

去る十月二十九日、厚真町社会福祉協議会において役員研修視察を行いました。

社協組織運営やサロン活動、在宅福祉事業、介護保険事業運営等について、厚真町社協の取り組み状況の説明を受け、その後、活発な意見交換が行われました。サロン活動は八雲町社協では実施していない事業であることから、実施までの経過や参加者の募集状況、会場確保と経費節減など運営方法に、参加した役員は興味深く耳を傾けていました。

在宅福祉事業は、両社協ともほぼ似たようなサービスが、それぞれの町に見合うかたちで事業展開されていました。料金の徴収方法など細部に相違があり、今後の効率的な事業運営を考える上で参考になりました。

介護保険事業運営においては平成二十七年度に大きな制度改正が予定されており、このことにより事業運営にどのような影響が出るかなど共通した課題が出され、今後とも的確な情報把握と利用しやすいサービス提供に努めていくことが大事であると話し合われました。

最後に、厚真町社協の運営している介護施設等を見学し研修を終えました。



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まり、町民皆様から善意の募金が集まってきておりますので、12月15日現在の途中経過をご報告いたします。

赤い羽根共同募金の実績（11月30日現在）

実績額 2,939,743円（目標額 4,000,000円）

内訳	戸別募金	1,417,894円
	大口募金	1,124,000円
	街頭募金	251,878円
	学校募金	7,314円
	その他	138,657円





男のための料理教室



八雲町社会福祉協議会熊石支所では、11月21日（金）に熊石総合センターを会場にして、ひとり暮らしや高齢の男性の方を対象とした『男のための料理教室』を開催いたしました。

昨年も実施した“そば打ち”に磨きをかけるべく、更なる挑戦をするため、今回は八雲そば研究会の方々に親切・丁寧に指導していただき、昨年より上達？した「蕎麦」が打ち上がりました。

参加された皆さんは、自分で打った蕎麦を自宅に持ち帰り、その日の夕食になったのではないのでしょうか。

熊石ボランティア協議会 秋の収穫作業



「熊石学校給食センター」

熊石ボランティア協議会は、春から育てていたジャガイモと花いっぱい事業が終了した畑で育てた大根を、ボランティア会員が集まって収穫しました。

ジャガイモは事務局でお届けして、大根は熊石ボランティア協議会の牧副会長とボランティア会員2名の協力を得てそれぞれの施設へお届けしました。



「くまいし荘」



「熊石学校給食センター」



「熊石国保病院」

熊石地域の学校給食に・・・熊石学校給食センター
 病院入院患者さんの食事に・・・熊石国保病院
 施設入居者さんの食事に・・・特別養護老人ホームくまいし荘
 ・・・・グループホームすまいる熊石
 園児の食事に・・・相沼保育園、熊石保育園



「グループホームすまいる」



平成26年度 ボランティア愛ランド北海道2014in さっぽろ開催!

平成26年11月2日(日)に、ボランティア愛ランド北海道2014in さっぽろが札幌市ニトリ文化ホールにて開催されました。

ボランティア愛ランドは、全道のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる人々が一同に集い、仲間づくりやネットワークの強化などを通じてボランティア活動の推進を図ることを目的に開催されております。



ボランティア愛ランドは今回で30回目、講師としてノートルダム清心学園理事長 渡辺和子氏による『置かれたところで咲く』をテーマにご自身の体験談をもとに、講演が行われ、そのあとに道内で活動しているボランティア実践者として4名の方によるシンポジウムが開催され、『NPO法人ファシリテーター・フェローズ理事・事務局長 篠原辰二氏』、『絵本サークルコナチャタテ代表 山崎聡子氏』、『北海道教育大学2年生 菊地春香氏』、『北海道まちづくりボランティア会議代表 藤井英規氏』が体験して感じたこと、これからのボランティアについてお話ししていただきました。中でも藤井英規さんは、八雲のボランティアスクールでも講師として来ていただいたことのある方で、ボランティア愛ランドの歴史などを楽しくお話してくれました。他にも第38回道新ボランティア奨励賞受賞団体の贈呈式もあり、道内で活動しているボランティア団体を知ること、学ぶこともできました。

今回、ボランティア愛ランド参加にあたり、2日目には老人福祉の施設見学を行いました。

見学させていただいた施設は、喜茂別町にある『社会福祉法人湊仁会介護老人福祉施設 きもべつ喜らめきの郷』を見学させていただきました。

完全個室で、プライバシーが尊重され、入居者一人ひとりの個性に合わせた生活が実現されています。近隣に住む町民の方も訪れ、談話できるスペースもあり、地域密着型の施設で、地元のボランティアが施設に対してどのようなボランティアをしているか聞くこともでき、参考になりました。



八雲ボランティア黒松内町福祉施設慰問



去る11月12日(水)に八雲ボランティアを中心に緑ヶ丘老人ホーム、緑ヶ丘ハイツへ慰問が行われました。慰問は毎年行われており、八雲ボランティア、八雲民謡会、松の会舞踊サークル、総勢21名の方が参加しました。

民謡、フラダンス、舞踊があり、民謡の演奏は三味線の生演奏です。普段見ること、聞くことが少ない唄に踊りをみることができる入居者の方は毎年楽しみにしてくれていて、拍手と笑顔がたくさんみられ、参加者も一緒に楽しむことができました。



皆さんの暖かい善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成26年10月16日～平成26年12月15日（順不同・敬称略）

- | | | |
|-------------|--------------------------|---------|
| 一般寄付 | ・小原流八雲支部（昭和60年度より継続） | 5,000円 |
| | ・杉本流三絃会 会主 杉 本 雅 人 | 50,000円 |
| | ・(有)第一清掃（昭和54年度より継続） | 10,388円 |
| 物資寄付 | ・八雲町老人クラブ連合会（平成20年度より継続） | 雑巾4枚 |
| | タオル100枚、バスタオル3枚、石鹸20個 | |
| | ・北海道コカ・コーラボトリング(株)八雲営業所 | 飲料水37箱 |
| | （昭和59年度より継続） | |

社協活動メモ

十月

- ・平成二十六年第二回渡島管内社会福祉協議会
会長・事務局長会議 渡島合同庁舎
- ・八雲町青少年健全育成推進協議会創立三十周年
記念式典及び祝賀会
- ・東町町内会連合会敬老会
- ・第2四半期定期監査
- ・八雲町社会福祉協議会役職員先進地視察研修
- ・熊石身体障害者福祉協会研修旅行 厚真町
函館市

十一月

- ・ボランティア愛ランド北海道2014 in 札幌
札幌市
- ・熊石関内町内会安心安全ふれあいサロンの会
- ・八雲ボランティア黒松内福祉施設慰問 黒松内町
- ・平成二十六年年度渡島・檜山地域福祉生活支援セ
ンター生活支援員研修会 七飯町
- ・第四回理事會
- ・第一回渡島噴火湾社会福祉協議会連絡會議
- ・第五回八雲町社会福祉大会
- ・ふれあいサークル事業「男のための料理教室」

十二月

- ・八雲ライオンズクラブクリスマス家族会
- ・第一回八雲町民生委員協議会定例会
- ・八雲町社会福祉協議会職員研修会
- ・第二回八雲町総合開発委員会

クリスマスプレゼントとして 八雲町内各施設へ



今年も北海道コカ・コーラボ
トリング株式会社様より飲料
水三十七箱の寄贈がありまし
たので、当社協から八雲町内の
施設へ配付させていただきました。

ありがとうございました。

会報第三十六号 ◎八雲町社協だより◎
平成二十七年一月一日発行
二海郡八雲町栄町十三一
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

☎ 0137-64-2112
FAX 0137-63-2160